

令和7年12月23日

埼玉医科大学と秀明中学校・高等学校が中高大連携協定を締結 ～幅広い連携協力の下、相互の理解を深め教育の活性化を図る～

令和7年12月16日、埼玉医科大学（埼玉県入間郡毛呂山町、竹内勤学長）と秀明中学校・高等学校（埼玉県川越市、神原洋校長）は、中高大連携協定を締結しました。

この協定は、大学と中学・高等学校の連携協力の下、相互の教育についての交流・連携を通じて、中学生及び高校生の視野を広げ、進路に対する意識や学習意欲を高めるとともに、お互いに中等教育・高等教育への理解を深め、教育の活性化を図ることを目的としています。

今後の取り組み内容については、以下の通りです。

- (1) 大学教員による出張講義に関する事。
- (2) 中学・高等学校の生徒に対する医療系職業についての情報提供に関する事。
- (3) 教育についての情報交換及び交流に関する事。
- (4) その他、双方が協議し同意した事項

【学校概要】

埼玉医科大学

埼玉医科大学は、1892年（明治25年）設立の毛呂病院を母体とし、校祖である丸木清美、丸木清浩により、すぐれた実地臨床医家を育成するという強い思いとともに、1972年（昭和47年）に創立されました。毛呂病院の歴史や理念を継承し、地域医療の充実という母体病院の信念を受け継ぎ、医療の現場で役に立つ、実践能力の高いすぐれた医療人を養成することを目的としています。

秀明中学校・高等学校

秀明学園は、「全寮制」「中高一貫」「全人英才教育」を三大特色として、1978年（昭和53年）4月に創立者川島寛士が開校しました。「常に真理を追究し、友情を培い、広く社会に貢献する人間形成を目的とする」という建学の精神および校訓「知・技・心」のもと、すべての教育活動を通じて、知力を充実させて思考力、創造力をつけるとともに、体を使って技を鍛え、磨き、豊かな人間性と強い精神力を培うよう指導しています。

以上



協定書には、双方の代表として埼玉医科大学 竹内勤 学長、
秀明中学校・高等学校 神原洋 校長が署名



調印式終了後、出席者全員で記念写真。

右から埼玉医科大学 別所正美 副理事長、茅野秀一 保健医療学部長、森茂久 医学部長・副学長、
竹内勤 学長、秀明中学校・高等学校 神原洋 校長、町田太郎 教学常任顧問、神田繁美 事務部長、
埼玉医科大学 医学部教養教育 向田寿光 教授